

町づくりアンケート結果

調査結果のポイント

<現在の職業や住まい>

成人者の約7割が学生で、働いている人は3割程度であった。その他2%については、家事手伝いやニートであると思われる。

成人者の半数は町内（おそらく実家）に住んでおり、女子については学生・就労者を問わず半数が町内から学校や勤務先へ通っている。男子は働いている人の67%が町内から通勤していて、残りの33%は県内の他市町村に住んでいる。ただ、男子学生は2割程度しか町内に住んでおらず、半数が県外に住み、県外の学校へ通っているという結果だった。また、学生・就労者合わせて、町外に住む場合は、圧倒的に金沢市が多かった。

<宝達志水町の好きなおところ・嫌いなおところの考え方>

宝達志水町の好きなおところでは、「自然が豊かなおところ・のんびりしている・住みやすいなど」の意見が多かった。また、「食べ物のおいしさ（米・水・魚など）や空気が新鮮」と感じている人も多くいた。嫌いなおところは、「遊ぶところがない、買い物する場所がない、交通の便が悪いなど」の意見が多かったが、逆に、「嫌いなおところはない」と言う人も数多くいて、ふるさとに対するそれぞれの思いが感じられた。

好きなおところに田舎をあげる人が9%、逆に嫌いなおところも田舎(活気がない・自然が多すぎるなど)という人が14%いた。中には好きなおところは田舎なおところで、嫌いなおところも田舎なおところと両方同時にあげる人も見受けられた。田舎ということは長所でもあり、短所でもあると感じられた。

<町内在住者と町外在住者による違い>

町内在住者に比べて町外に出ている人から多く見られた意見

好きなおところ 落ち着く、のんびりしている、食べ物がおいしい

嫌いなおところ お店が少ない、交通の便が悪い

町外に住んで初めてふるさとの良い面や悪い面がはつきり見えてくることもある。

<その他>

コンビニを増やしてほしいという意見がいくつかあった。現在も町内にコンビニは3箇所あるので、最近、石川県に進出したセブンイレブンなど、現在宝達志水町にない店舗を望んでいるのか、家から歩いていけるような距離にもっとコンビニが必要なのだと思う。

また、24時間営業の施設を希望している意見がいくつかあった。代表的なものはコンビニだが、娯楽施設（まんが喫茶やネットカフェ）、飲食店、ガソリンスタンドにいたるまで、24時間営業の施設があると答えていて、現在の若者の生活の実態が感じられた。

調査結果から

- アンケート結果から、宝達志水町の良いところとして、山と海が同時に楽しめるところや千里浜なぎさドライブウェイなどをあげる意見が多く、基本に戻ってしまうが、これからも全国的にも珍しい自然資源を活かした町づくりが必要なのだと思う。
- 若者の半数は町内に住んでいて、当初予想していたよりも多かった。現在の景気の影響など様々な理由で、実家から通っているのだと思う。宝達志水町の嫌いなところで遊ぶ場所がないという意見が一番多かったが、働く場所がないという人は少なく、働く場所は町内でなくても、家から通える範囲であればよいと考えている人が多いのではないかと思った。ただ、宝達志水町を元気な町にするために一番必要なものという問いには、意見は逆転し、働く場所の確保が一番多い意見で、遊べる場所を増やすという意見は少なかった。
- これからは、交通の便をよくし、通勤しやすい町づくり（JRや道路整備など）を目指していくことも、重要であると思う。また、元気な町にするために一番多かった意見として、やはり働く場所の確保、企業誘致は今後も重点的に継続して力をいれていくべき施策であると思う。
- 若い力を町内に残すためには、遊べる場所や商業地を作ることが求められている。また、住宅地の確保であったり、公園を作ったり、保育士の充実といった町づくりも必要であるというアンケート結果であった。
- 男子学生の多くが県外の学校へ通っているので、学校卒業後ふるさとに戻って就職してもらうためにも、安定した働く場所の確保が一番重要なのだと思うが、そのまま県外に就職したとしても、ふるさと納税制度の周知といった広報をすることも、重要だと思う。

終わりに

当初は、成人式という場所柄、アンケートの回収は難しいのではないかとことも考えられましたが、成人式の実行委員会の方々や生涯学習課の担当者の方々のご協力のおかげで、たくさんの意見が得られました。あらためて、感謝申し上げます。また、アンケートにお答えいただいた成人式参加者の皆様にもあらためて、お礼申し上げます。貴重な意見をこれからの町づくりに活かしてまいります。ありがとうございました。